

2019年12月1日

まるひろ園×株式会社リブラス×神奈川大学 農業体験イベント 第2回（冬編）

実施報告書

まるひろみかんチーム

201702247 江戸千奈

201702260 鬼島香澄

201702271 佐藤舜希

201702064 童漢



1. 目的・テーマ

- ① 実際に体験することで「食と農」への関心を高める
- ② SDGs を身近に感じてもらう
- ③ 参加者の方が、普段関わることが少ない農家・学生との交流を深める機会をつくる

このイベントは、株式会社リブラスの社員の皆様とそのご家族・ご友人を対象に行ったものである。

神奈川大学山岡ゼミの学生が主体となり伊勢原市で農家をするまるひろ園さんに全面協力していただいた。

また、第1回目のイベント（夏編）に続く年内最後の第2回目のイベント（冬編）である。

2. 実施結果

（1） イベント概要

名称：リブラス×まるひろ園×神奈川大学

開催期間：12月1日（日） 10：00～14：00

場所：まるひろ園（伊勢原市坪ノ内397）

参加費：大人（小学生含む）2,500円

参加人数：株式会社リブラス 7名（大人8名 小学生1名）

神奈川大学スタッフ 12名（学生11名 教員1名）

(2) 当日の様子

① イベントがスタートするまで

スタッフは8:30にまるひろ園に集合した。その後、原さんを含めスタッフ全員で打ち合わせを行い、会場設営/準備・片付け・薪拾いに別れ作業した。会場設営を行っていた一部のメンバーが受付を開始し、参加者が全員揃ったため予定時刻である10:00にイベントがスタートした。



② 畑の散策

自身で収穫を行っていただく前に、畑周辺の散策を通してこれから収穫する野菜の成長過程を見ていただいた。どの野菜の成長過程かクイズ方式で出題し、参加者の方にお答えいただいた。原さんの説明やお話も交えてまるひろ園の畑を回った。



③ 冬野菜の収穫体験

散策の後、冬野菜畑に移動した。原さんから収穫方法の説明を受けた後、各自が作業を開始した。冬野菜はお土産用の白大根を1つ、赤大根・カブから好きなもの1つを選び収穫した。何を採ろうか悩みながら収穫する参加者の様子がとても印象的だった。

収穫後、時間に余裕があったため、予定していなかった収穫した野菜の水洗いを急遽プログラムに加えた。原さんが普段行っている野菜の洗い方を説明していただき、参加者にも体験していただいた。農家さんの苦労を少しでも感じていただけたのではないかな。



④みかんの収穫体験

みかん畑に移動し、原さんから収穫方法と注意点の説明を受けた後、各々が作業を開始した。学生と参加者がコミュニケーションを取りながら収穫作業を行った。途中、集合写真の撮影を挟み、その後もみかんの収穫作業を続けた。約1時間に及ぶ収穫だったため、満足のいく量のみかんを採ることができた参加者が多かったように感じる。



⑤SDGs/即売会

みかんの収穫体験を終え、スタッフが昼食準備を行っている間に SDGs についての説明・クイズ大会を開催した。第1回イベントでの反省点を踏まえて参加者に SDGs についてより理解していただくため、紙芝居を用いて SDGs の説明を行い、その説明を踏まえた上での難易度でクイズを出題した。2つのグループに分かれて答えていただいたため、参加者もクイズに参加しやすかったように思う。参加者から沢山の反応を受け、その場を盛り上げることができた。

また、出荷時間の都合上、この時間に即売会を行った。まるひろ園でその日採れた野菜の他に、参加者に畑で納得のいく野菜を自身で選び、収穫していただく形で販売を行った。



⑥昼食会

料理は、みかん鍋+手作りポン酢・白米・白/赤大根の塩もみ・ローズヒップティーである。



みかん鍋には、直前に収穫した白大根・白菜・みかんを入れた。鍋に入れる肉団子は調理を希望していた参加者と学生スタッフで作ったものである。大根の塩もみにはゆずの皮を散らし、白・赤・黄の美しい彩りを見せた。料理が完成するまで、みかん鍋に加える手作りポン酢を参加者に作っていただいた。

みかん・ゆず・だいたい等から選んだ上でポン酢に絞り、それぞれお好みの手作りポン酢を作った。手作りポン酢を作る参加者の和気あいあいとした様子がとても印象的だった。

その後すべての料理が完成し、昼食がスタートした。初めて食べるみかん鍋の食感に皆驚きつつ、参加者と学生がコミュニケーションを取りながら昼食が進んでいった。食後には、夏に学生が植えたローズヒップティーを提供した。



⑦アンケート/お土産

今後のイベント企画・前回のイベントとの比較、満足度調査のためアンケートを実施した。

お土産として、みかん・個々で収穫していた冬野菜をお渡しした。

また、第1回目のイベントで配布したエコバッグを持参していただいた参加者には、みかんの他にゆず等を詰め合わせた小さなおまけをお渡しした。エコバッグを通して、些細な取り組みがSDGsの目標達成に繋がるということを感じていただけたのではないかな。

3.収支

(1)収支			
	費目	内訳	金額
	参加費	大人 2,500×7 人	17,500 円
(2)支出			
	費目	内訳	金額
	食材費	《昼食》味噌、めんつゆ、豆腐、しめじ、胸肉、椎茸、紙コップ	2,711 円
	まるひろ園運営費（お土産代を含む）		14,789 円

4.総括

（1）評価出来ない点

1. コミュニケーション

参加者であるリプラスの方と私たち学生がコミュニケーションを密にとることが前回よりも少なかったように思う。何度もお手伝いに行く中で得た知識を参加者の方にお伝えしながら収穫作業ができれば良かった。学生と参加者でそれぞれ分かれてしまうことが多かったのは反省点に挙げられる。アンケートにも参加理由に学生と交流できるから、を選んでいただいているため、普段関わることがない大人との交流を学生から持ちかけて行く必要があると改めて感じた。

2. タイムスケジュール

結果的に臨機応変な対応でイベントが進められたことは良かったが、タイムスケジュールがあまり機能していなかった。余裕のあるタイムスケジュールにしていたことでなんとかこなせた部分が大きいため、時間に余裕を持って様々な対応を事前に想定しておくといいと思った。昼食の時間やに人数配分には今回も反省が残る。

(2) 評価出来る点

1. スケジュール変更

今回、タイムスケジュール通りではなく、何度か空き時間の前後を見て臨機応変に予定変更することが出来た。まず、冬野菜の収穫が早く終わり、みかんの収穫に行くまでに取ったばかりの野菜を実際に洗った。前々日準備の際に学生が実際に経験していたこともあり、スムーズに作業出来た。出荷までの実際の流れも知ることが出来、いい体験になったと感じる。

また、みかんの収穫から昼食までの時間が出来てしまった際には昼食後に行う予定だったSDGsのクイズを行うことにした。急遽の変更だったが上手く対応し出来た。この時間で昼食も出来上がり、いい流れで昼食に入れた。お手伝いのスタッフも含め、みんなが臨機応変に動くことが出来たことは全体として評価出来る。

2. 昼食

今回の昼食は前々日準備も含めて、学生で事前に一度作っていたため、当日になって作り方が分からないなどと慌てることがなかったのはよかった。前回のイベントでは事前に試していなかったメニューもあり、混乱していたため、今回は反省を生かすことが出来た。事前にメニューの作り方を簡単にメモしたものを共有したのも前回の反省を生かすことが出来たため、評価出来る。

3. SDGs クイズ

前回のイベントでは、SDGsクイズを行うことを断念してしまっていたが、今回はクイズを行うことが出来、アンケートで良かったプログラムに選んでいただくことが出来た。SDGsの講演会に時間を割くことが出来ず、前回はあまりお伝えすることができなかった分、今回はインゼミ大会で得た知識をイベント内のSDGsの講演会で活かすことが出来た。

4. お手伝い

前回よりもお手伝いに行き、原さんとコミュニケーションが取れていたことが全体の評価出来る点だと考えられる。天候不順で1ヶ月丸々お手伝いに行くことが出来なかったこともあったが、その分を巻き返すようにイベント前は通い詰めた。コミュニケーションをとることで関係性が一層出来たのではないかと考えられる。

(3) 全体において

前回課題だった事前の確認不足は今回かなり改善されたのではないかと思う。何事においても事前の確認は大切だと実感した。お手伝い行けなかった場合には何をしたらいいのか聞き把握することは大事だ。急遽の予定変更時に電話でやりとりができたことも前回起きた連絡不足を生かすことが出来ており良かった。全体として、前回の夏イベントより良いイベントになったと思う。

5. アンケート結果

回収数 7 枚 回収率 100%

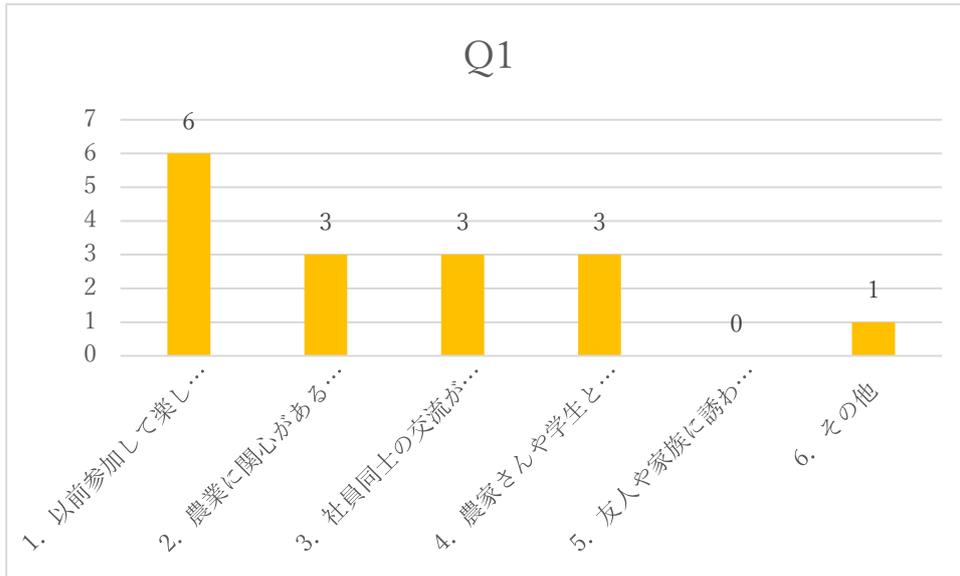
Q1 本日参加した理由を教えてください。当てはまるもの全てにチェックしてください。

(MA)

本日参加した理由	件数
1. 以前参加して楽しかったから	6
2. 農業に関心があるから	3
3. 社員同士の交流ができるから	3
4. 農家さんや学生と交流ができるから	3
5. 友人や家族に誘われたから	0
6. その他	1

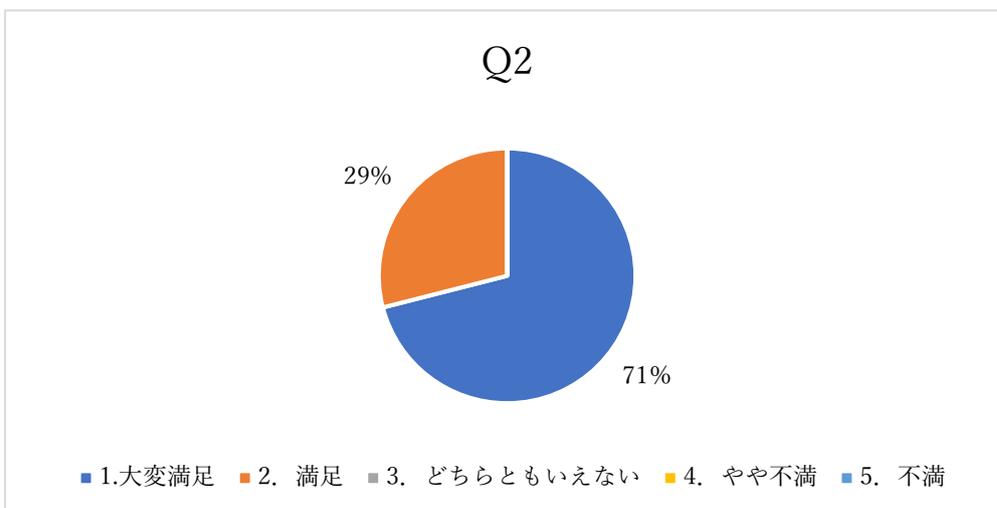
その他 理由

- ・採れたての野菜が食べたいから。



Q2 プログラムの満足度はいかがでしたか。該当するものにチェックし、その理由をご記入ください。

プログラムの満足度はいかがでしたか	全体	件数	割合
1. 大変満足	7	5	71
2. 満足		2	29
3. どちらともいえない		0	0
4. やや不満		0	0
5. 不満		0	0



ア 大変満足

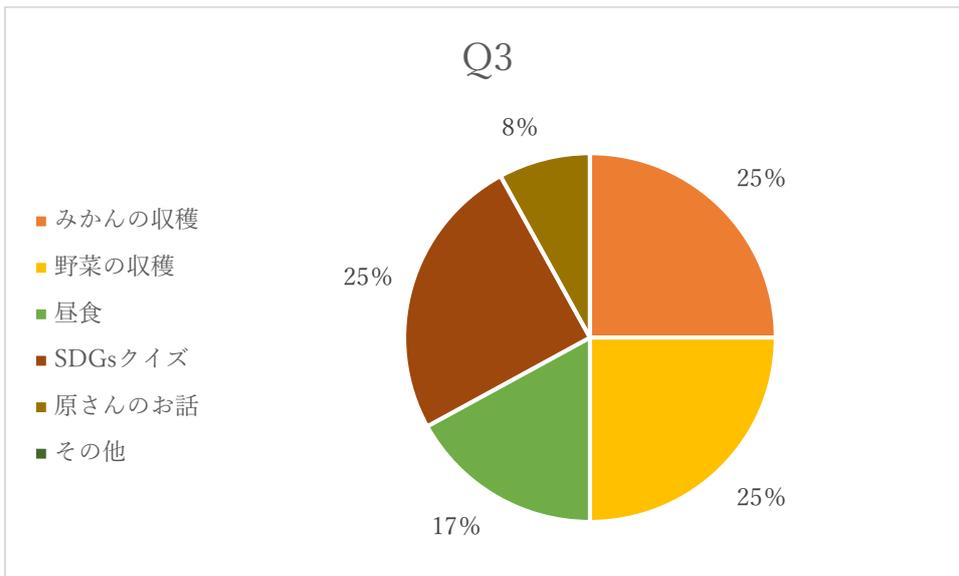
- ・昼食美味しいです。野菜もいただいて満足です。
- ・毎回、クイズやみかんの豆知識など楽しい内容です。昼食も毎回とてもおいしくて楽しみにしています。
- ・色々な野菜が育っている様子が見学でき、実際に収穫もできました。
- ・短い時間ですがいつも工夫を凝らして対応していただきありがとうございます。
- ・みかんの収穫が楽しかった。

イ 満足

- ・収穫とごはんがよかったから。
- ・ごはんがおいしくて良かったです。できれば、夏みたいにいろいろな種類の野菜を収穫できるとより良かったです。

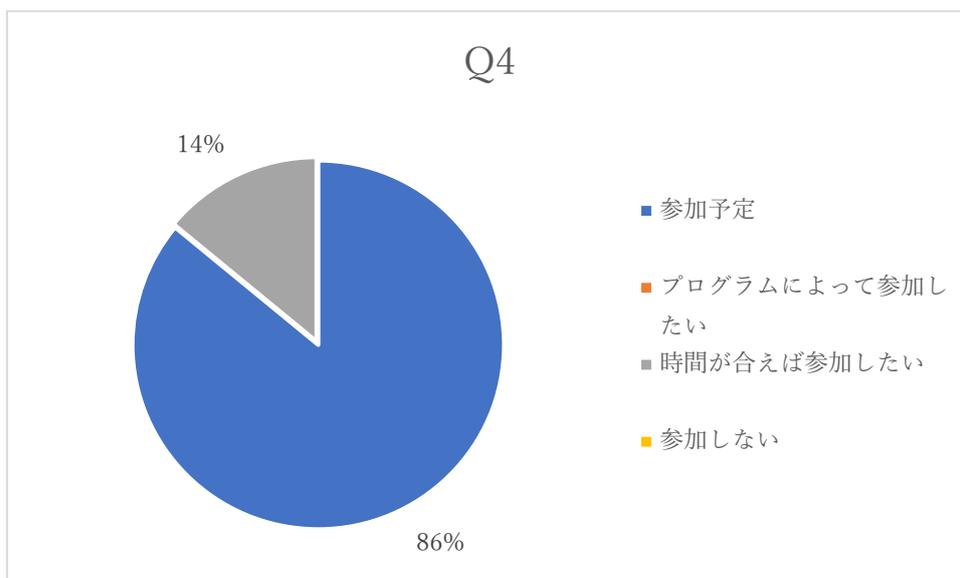
Q3 プログラム内でよかったものにチェックしてください。(MA)

	全体	件数	割合
みかんの収穫	12	3	25
野菜収穫		3	25
昼食		2	17
SDGs クイズ		3	25
原さんのお話		1	8
その他		0	0



Q4 もし来年も実施したら参加しますか。該当するもの1つにチェックしてください。

	全体	件数	割合
参加予定	7	6	86
プログラムによって参加したい		0	0
時間が合えば参加したい		1	14
参加しない		0	0



Q5 その他ご感想や意見・ご要望、今後行いたいプログラムなどがございましたらご自由にお書きください。

- ・いつも色々と考えてくださりありがとうございます。
- ・このまま引き続きよろしくをお願いします。
- ・企画、準備をしていただきましてありがとうございます。
- ・また新たな企画を楽しみにしています。
- ・皆様の努力に感謝しかありません。私たちもよりよく続けられるように意見をまとめます。今後ともよろしくをお願いします。
- ・ありがとうございました。
- ・楽しかったです。ありがとうございました。学生さんともたくさんお話できてよかったです。鶏団子おいしかったです。
- ・いつも色々と考えてくださりありがとうございます。

アンケート結果を受けて（考察）

- ・企画に関するお褒めのご意見が多かった。
- ・昼食が好評だった。→事前にお手伝いの時点でミカン鍋を試食していたためトラブルなく調理を進めることができた。
- ・参加の理由に〈以前参加して楽しかった〉が多かった。
- ・前回のイベントの反省を踏まえて SDGs を講演会からクイズ形式に変更したことで関心をもってもらった。

→インゼミ大会で MDGs に関するご質問があり、SDGs クイズをするうえで MDGs は重要な時代背景だったため、クイズに入る前に導入として MDGs を取り入れることでより関心を持ってもらえたのではないかと。

前回のイベントよりも収穫するものが少なくなりました。

→その代わりに畑の周りを散歩することで野菜が育っている様子を参加者に伝えることができた。

・昼食準備でスケジュール通りに進めることができなかったが SDGs クイズを前倒しに実施したり即売会の準備をしたりするなど臨機応変に行動できた。

・前回のイベントで作成したエコバックを使用することができた。

・タイムスケジュールをスタッフ全員に配布し、連絡をこまめに取ったことでスムーズに作業することができ、タイムロスが前回より少なくなった。

・前回、参加者が調理を一緒にしたいというご意見がありそれを踏まえて鶏団子を参加者と一緒に作る調理工程として取り入れることができた。

以上